

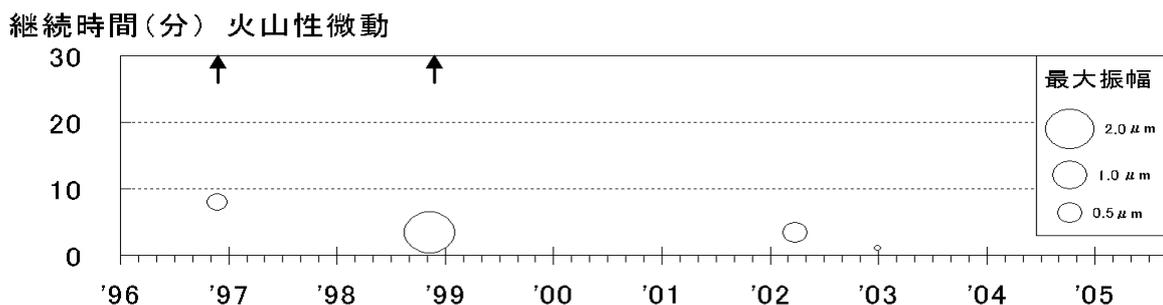
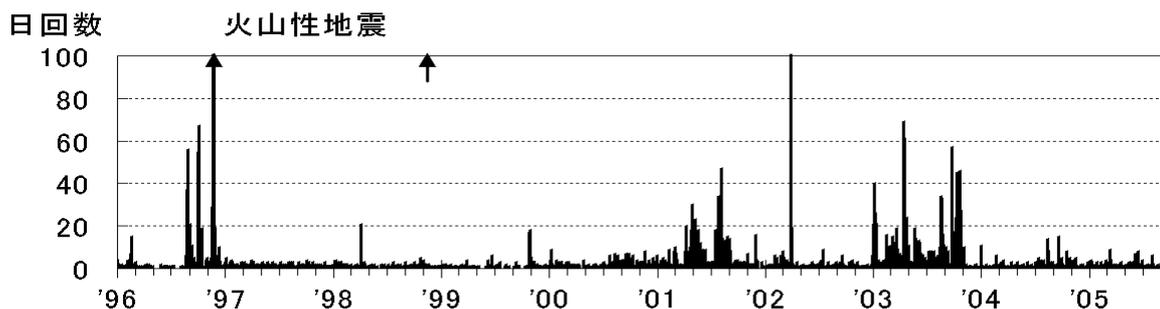
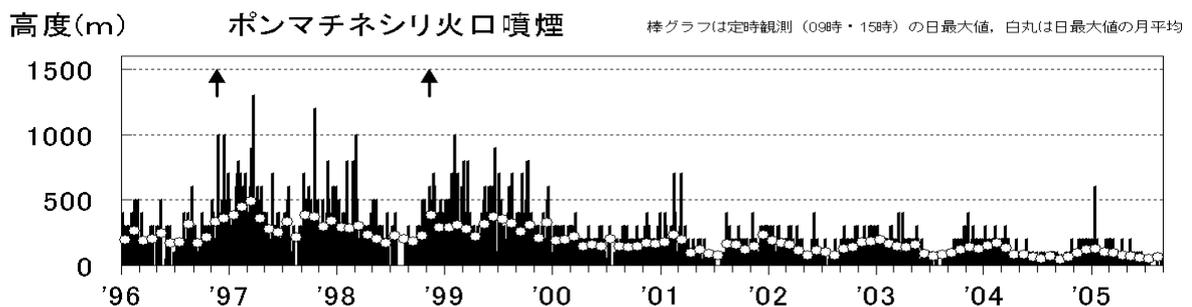
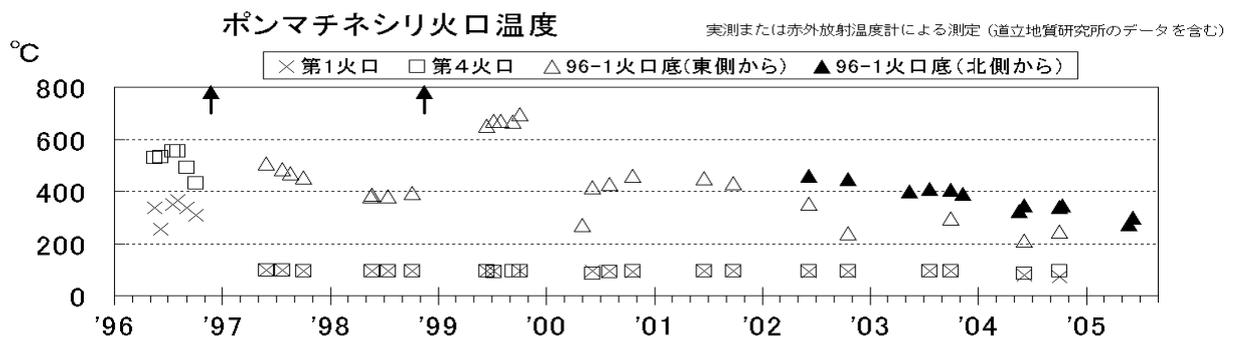
雌阿寒岳

1 概況

地震は少ない状態で経過しており、火山活動は比較的静穏な状態となっています。

2 噴煙の状況

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況は前期間（7 月）と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。噴煙の高さや噴出の勢いは 2000 年以降やや低下した状態が続いています。



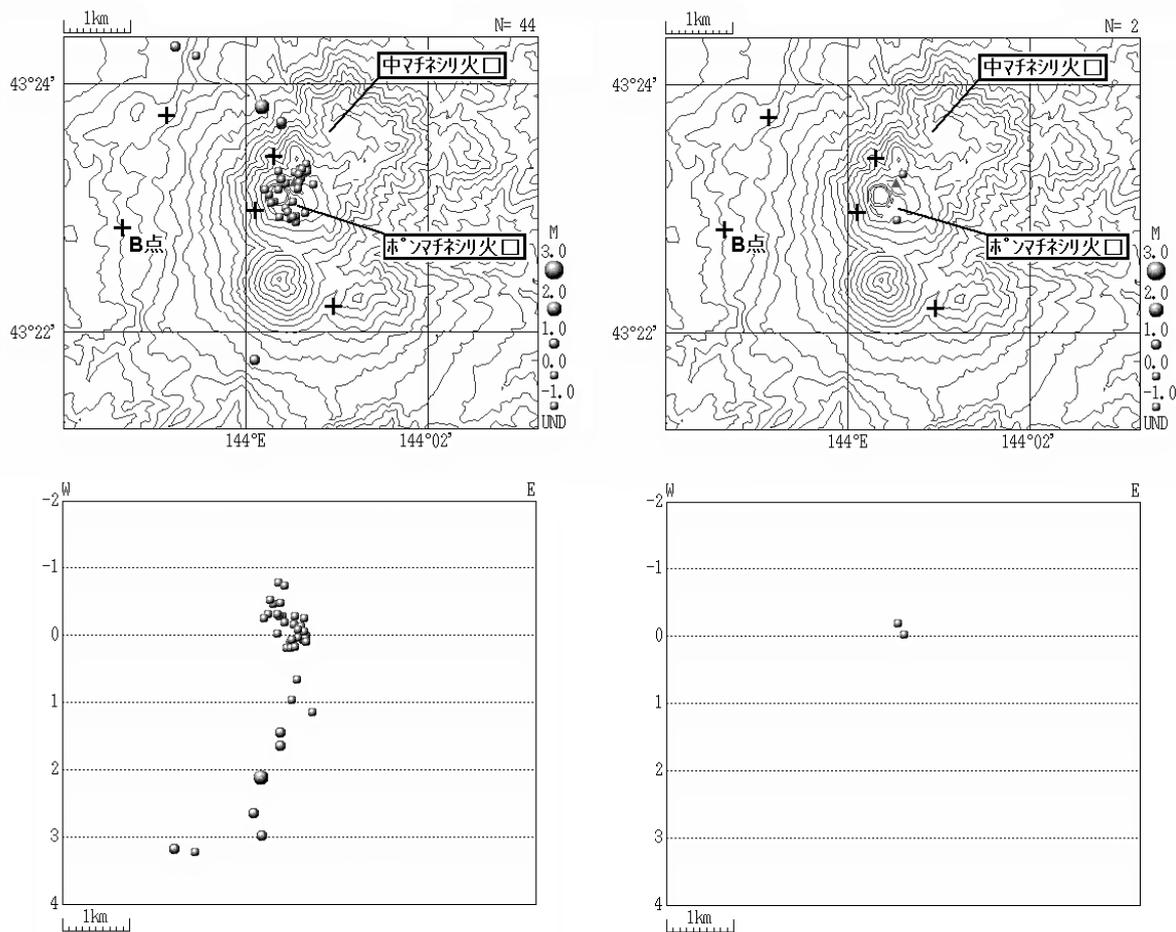
最近の火山活動経過図（1996年1月1日～2005年8月31日） 印は噴火

3 地震および微動の発生状況

ポンマチネシリ火口を震源とする地震は1日あたり0～6回と少なく、静穏に経過しました。
火山性微動は2003年1月以降観測されていません。

地震・微動の月回数（B点）

2004～2005年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
地震回数	42	40	28	9	26	19	32	20	20	40	14	16
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



雌阿寒岳の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

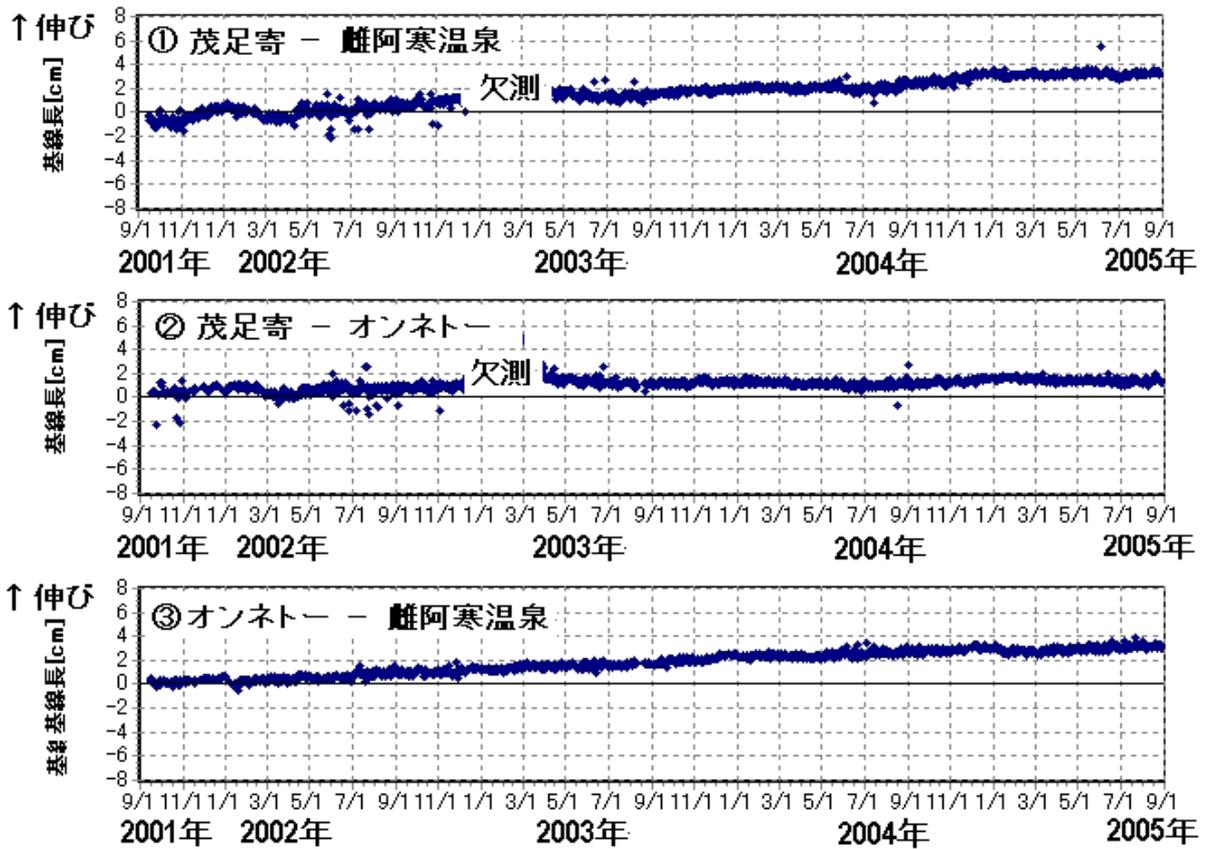
右図は今期間（2005年8月1日～31日）に求めた震源を示しています。

左図は前期間までの約10ヶ月間（2004年10月5日～2005年7月31日）に求めた震源を示しています。

震源はポンマチネシリ火口直下の海面付近と北西山麓のやや深いところ（海面下約3km）に分布しています。今期間の震源もこの領域内に求まっています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、わずかな伸びの傾向を示す変動が認められていますが、火山活動との関連については今後の推移を見て判断する必要があります。



基線長変化(2001年9月19日~2005年8月31日)

